Building Community Partnerships: The Japan-U.S. Natural Science Museums Project

地域連携の構築：日米自然科学博物館事業　公開フォーラム

プログラム

※フォーラムの内容は同じです。

11.5【土】14:30～
御船町恐竜博物館

11.6【日】13:00～
阿蘇プラザホテル

11.10【木】14:30～
天草文化交流館

趣旨説明

モンタナ州立大学附属ロッキー博物館
パトリック　リージー

リレートーク

御船町恐竜博物館の研究と教育に関する取り組み
御船町恐竜博物館　池上直樹・林辰弥

カーター郡立博物館の研究と教育に関する取り組み
カーター郡立博物館　ネイサン キャロル

化石採集体験やジオサイトを生かした研究・教育活動
天草市立御所浦白亜紀資料館　廣瀬浩司・黒須弘美

阿蘇火山博物館における火山・地質分野の研究・教育活動
阿蘇火山博物館　池辺伸一郎

モバイルプラネタリウムを活用した出張天文講座の取り組み
熊本市立熊本博物館　野村美月

ロッキー博物館における５・６年生を対象とした古生物・地質・天文分野の教育活動
モンタナ州立大学附属ロッキー博物館　アンジェラ ウェイカー

※講演タイトルは仮題です。

質疑応答

レセプション

この事業は国際交流基金日米センター一般公募助成事業の助成を受けて行われています。
熊本モンタナ自然科学博物館協会は、公共の利益のために、学校や博物館で利用できる地質・古生物・天文分野のユニークで重要な教材開発のために必要な連携と対話を応援しています。

Funded by the Japan Foundation Center for Global Partnership, the Kumamoto Montana Natural Science Museum Association engages in collaborative discourse to develop unique and important educational materials in Paleontology, Geology, and Astronomy for the benefit of the public.

CGP
The Japan Foundation Center for Global Partnership

KUMAMOTO MONTANA NATURAL SCIENCE MUSEUM ASSOCIATION 熊本モンタナ自然科学博物館協会

〈主催〉モンタナ州立大学附属ロッキー博物館・御船町恐竜博物館・(公財)阿蘇火山博物館・熊本市立熊本博物館・天草市立御所浦白亜紀資料館・カーター郡立博物館
〈協力〉モンタナ州政府駐日代表事務所・熊本県博物館ネットワークセンター・熊本モンタナ自然科学博物館協会〈後援〉熊本県教育委員会・熊本モンタナ姉妹交流協会

国際交流基金日米センター一般公募助成事業

CGP
The Japan Foundation Center for Global Partnership

Public Forum on

Building Community Partnerships: The Japan-U.S. Natural Science Museums Project

地域連携の構築：日米自然科学博物館事業 公開フォーラム

MONTANA

KUMAMOTO

2016 **11.5**【土】14:30～
御船町恐竜博物館

11.6【日】13:00～
阿蘇プラザホテル

11.10【木】14:30～
天草文化交流館

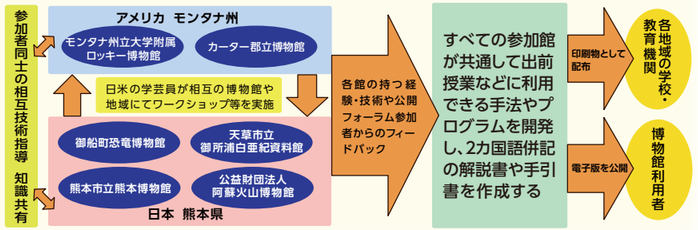
MUSEUM OF THE ROCKIES MONTANA STATE UNIVERSITY　MONTANA STATE UNIVERSITY　MDM 御船町恐竜博物館 MIFUNE DINOSAUR MUSEUM　KCM Kumamoto City Museum 熊本博物館　公益財団法人 阿蘇火山博物館　御所浦白亜紀資料館 Goshoura Cretaceous Museum　Carter County Museum

Building Community Partnerships: The Japan-U.S. Natural Science Museums Project

地域連携の構築：日米自然科学博物館事業 とは

この事業は、学校や博物館等で利用できる地質・古生物・天文分野の教育プログラム開発を目的として、熊本とモンタナの自然科学系博物館が連携して取り組んでいるものです。両地域における自然科学分野の生涯学習の推進を図るため、ワークショップや公開フォーラムを通して各館のノウハウや参加者からのフィードバックを共有し、国際的なアウトリーチ活動を強化するとともに2ヶ国語併記の解説書の作成を目指します。

目的
熊本とモンタナの自然科学博物館間の連携コミュニティ形成
各博物館の相互技術指導による博物館スタッフ・ボランティアの技術向上
両地域での講演会や出前事業実施による博物館の国際アウトリーチ活動強化
体験学習型の教育普及活動を通した学校や地域社会での生涯学習の推進
共通理念、指導要領、教育カリキュラムの共同開発を通した博学連携の推進



プロジェクト参加博物館

モンタナ州立大学附属ロッキー博物館

1957年に設立されたロッキー博物館は米国モンタナ州ボーズマンにあるモンタナ州立大学に属す博物館。同館の古生物研究分野と恐竜化石のコレクションは世界的にも認められており、合衆国政府のコレクション管理施設でもある。また、アメリカ西部史研究と西部開拓時代のアートや写真研究の分野でも知られている。同館はスミソニアン協会に加盟し、米国博物館連合に認定された775館しかない機関のひとつ。熊本県と福井県にある博物館と姉妹館関係を結んでおり、特に御船町恐竜博物館との交流はグローバルレベルでの連携モデルとされている。

カーター郡立博物館

1936年に設立されたモンタナ州における最初の郡立博物館であり、州内で最初に恐竜を展示した博物館である。草食恐竜アナトティタンの全身骨格から約11000年前の矢じり、さらには初期の開拓時代工芸品など、約8000万年間の歴史を展示する。カーター郡には白亜紀最後期の地層、ヘルクリーク層が分布し、数多くの恐竜化石を産出する。毎年7月には恒例の“恐竜祭り”が開催され子どもから専門家まで多くの人々が集う。

御船町恐竜博物館

1998年に設立された、御船層群の恐竜化石発掘の最前線に建つ自然史博物館。博物館法に基づく登録博物館として運営されている。古生物資料を中心に約15000点を収蔵し、調査研究、資料収集、展示・情報発信、教育すべての分野において利用者とともに活動し成長する博物館を目指す。ロッキー博物館と姉妹館交流を行い、国際的な活動成果を地域に還元する取り組みを展開。バックヤードの解放（オープンラボ）やエデュケーター、プリパレーター、デザイナーの配置など、日本国内の博物館としてはユニークな運営を行っている。

熊本市立熊本博物館

自然・人文の郷土博物館として1952年に旧師団司令部跡に設立され、その後幾多の変遷を経て1978年に現在の本館が設置された。青少年の夢を育てることを目的とし、自然、人文の両部門にプラネタリウムを併設した総合博物館である。熊本博物館は郷土に立脚し、人間生活に密着することを基本に、広域の情報を提供、一般に開放された市民参加型の博物館をめざしている。そして、市民が自ら知り、考え、行動するお手伝いを心がけている。
2015年7月よりリニューアル工事のため休館中。

天草市立御所浦白亜紀資料館

御所浦白亜紀資料館は、熊本県の離島の町「御所浦」にある資料館である。1997年に天草地域で初めてとなる恐竜化石が御所浦島から発見されたことを機に同年に開館した。天草地域から見つかった恐竜やアンモナイトをはじめ、約1000点の化石や岩石、現生貝類などの標本を展示している。天草地域は日本ジオパークに加盟認定された「天草ジオパーク」であり、その拠点施設となっている。野外には化石採集場があり、化石を探す体験が人気である。また、アンモナイト館や烏峠展望所などのジオサイト（見学地）を巡るのもオススメである。

公益財団法人阿蘇火山博物館

1982年7月に設立、2004年4月に阿蘇製薬（株）に営業譲渡され、同年8月に財団法人設立。2013年以降、「公益財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団」として運営。阿蘇の成り立ち、地形や火山地質、草原、動植物、歴史・文化に関する資料を中心に展示。そのほか、マルチスクリーンを使って、阿蘇の自然や人々の暮らしについての映画を上映している。博物館活動としては、調査研究に加え、博物館を訪れた学校に対しては、ミュージアムツアーやフィールドワークを実施、また地域においては博物館と学校との連携に力を入れ、学芸員が学校に出向いて地域学習や防災学習の支援も行っている。

プロジェクト参加メンバー

モンタナ州立大学附属ロッキー博物館
古生物部長兼展示部長　パトリック リージー

Patrick Leiggi

モンタナ州立大学附属ロッキー博物館において古生物部長、展示部長として30年以上勤務。率いるチームが世界で最も成功した博物館の古生物学研究と収集プログラムのひとつを開発した。アメリカ公有地において発見された化石が科学や教育目的に使用されるよう、連邦法草案の共同作成の立ち上げに成功。著書に「古脊椎動物学の技術」と「ビッグアルの物語：未来のための恐竜の保存」がある。国際交流基金日米センター一般公募助成事業「地域連携の構築：日米自然博物館事業」の共同立案者であり最高事業責任者。

モンタナ州立大学附属ロッキー博物館
古生物担当上席プリパレーター　キャリー アンセル

Carrie Ancell

モンタナ州立大学附属ロッキー博物館の古生物部の上席プリパレーター。モンタナ州立大学卒業後、30年にわたりロッキー博物館の古生物部に勤務。ロッキー博物館の指導的技術者として、多くの学生、職員、ボランティアの訓練に携わってきた。ロッキー博物館の姉妹館である御船町恐竜博物館のプレパレーションプロジェクトにおいても技術講師を務める。国際交流基金日米センター一般公募助成事業「地域連携の構築：日米自然博物館事業」の共同立案者であり事業コーディネーターを務める。

モンタナ州立大学附属ロッキー博物館
事業部長兼教育普及部長　アンジェラ ウェイカー

Angela Weikert

ロッキー博物館の事業部長兼教育普及部長。理科教育学の修士号を取得し、モンタナ州立大学における教育学の博士論文提出有資格者。ロッキー博物館に勤務した8年間、数々の助成金による研究や新しい教材を通して、質の高い学校野外巡検と教師の人材育成に対する博物館の関与を増加させた。すべての年齢層の生涯教育を改善するため、各地域と州全体の委員会に働きかけを行っている。またカリキュラム開発のノウハウを有し、ナショナルジオグラフィックとマッギリヴレイフリーマンフィルムズに使用されている教師用ガイドを執筆。

カーター郡立博物館
学芸員　ネイサン キャロル

Nathan Carroll

モンタナ州イカラカにあるカーター郡立博物館の学芸員。モンタナ州東部で家族とともに過ごした幼少時代から恐竜の発掘を学ぶ機会に恵まれていた。モンタナ州立大学地球科学科に入学し修士課程を修了。現在、南カリフォルニア大学の博士課程に在籍している。過去5年にわたり、カーター郡立博物館と全米からの学生との共同研究をコーディネート。これらのプロジェクトは、カーター郡立博物館における新たな恐竜の発見、展示、そして教育プログラムの開発に大きな成果をもたらしている。

御船町恐竜博物館
主任学芸員　池上 直樹

Naoki Ikegami

1993年熊本大学大学院教育学研究科修了。2007年九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程単位取得退学（社会人特別選抜）。博士（理学）。中学校教諭、指導主事を経て、1998年から御船町恐竜博物館学芸員、2008年から現職。専門は古生物学，層序学。中生代脊椎動物化石や白亜系の層序と古環境に関する調査・研究に従事。2009年度文部科学省学芸員等在外派遣研修生。著書に「日本恐竜探検隊（岩波書店）」の分担執筆などがある。国際交流基金日米センター一般公募助成事業「地域連携の構築：日米自然博物館プロジェクト」の事業責任者。

御船町恐竜博物館
学芸員　林 辰弥

Tatsuya Hayashi

2001年 九州大学 理学部 地球惑星科学科 卒業
2007年 九州大学大学院 比較社会文化学府
（地球環境変動講座）博士課程 修了
日本学術振興会特別研究員（DC2、PD）、九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者、独立行政法人国立科学博物館非常勤研究員を経て2012年10月より現職（御船町恐竜博物館学芸員）。専門は古生物学、古環境学、第四紀学。特に珪藻の古生態と古気候・古環境のリンケージに興味を持つ。

天草市立御所浦白亜紀資料館
学芸員　廣瀬浩司

Koji Hirose

天草市立御所浦白亜紀資料館参事(学芸員)。修士(理学)。高知大学大学院理学研究科修士課程修了。1999年より御所浦白亜紀資料館に勤務し、管理運営、収集、保管、展示、教育普及、調査研究、特別展や野外体験の企画などを行う。専門は古生物学、地質学。白亜紀の二枚貝化石(特にトリゴニア類)について、大学の頃より御所浦島などにおいて調査研究を行う。1997年に九州初となる恐竜の足跡化石や竜脚類の歯化石を発見。

天草市立御所浦白亜紀資料館
学芸員　黒須弘美

Hiromi Kurosu

天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員。修士(理学)。京都大学大学院理学研究科修士課程修了。2012年から2014年に御所浦白亜紀資料館学芸員(非常勤)として勤務し、2016年より現職。御所浦白亜紀資料館のウェブサイト管理、化石の発掘調査研究(特に恐竜化石)、教育普及などを担当。専門は古脊椎動物学(恐竜)。特に角竜類についての調査研究を行っている。

公益財団法人阿蘇火山博物館
館長　池辺 伸一郎

Shinichiro Ikebe

1981年鹿児島大学理学部地学科卒業、地質調査コンサルタントを経て、1984年阿蘇火山博物館勤務、2000年同館館長。博物館学芸員、自然公園指導員、博士(理学)～鹿児島大学。熊本大学客員教授、日本ミュージアムマネジメント学会理事、阿蘇ジオパーク推進協議会事務局長などを兼務。
阿蘇の地形地質、火山活動や自然と文化の関わりなどについての調査研究、とくに、火山噴出物と火山活動との関係性について調査を行っている。また、子どもたちや一般の人たちへの地学教育や防災教育にも力を入れている。

熊本市立熊本博物館
学芸員　野村 美月

Mizuki Nomura

2015年3月　愛媛大学理学部物理学科　卒業
2015年4月（現職）熊本博物館　学芸員（天文）
日本天文学会　所属
専門はX線天文学。博物館休館後はモバイルプラネタリウムを用いてくまもと森都心プラザや熊本市内の幼稚園・保育園・小学校などで天文講座を実施。